

【件名】	総武陸橋維持工事（橋面舗装）その2	【事務所名】	第五建設事務所	
【工事場所】	東京都江戸川区上一色三丁目地内から 同区上一色二丁目地内まで	【受注者名】	千代田建設興業株式会社	
【工期】	令和5年3月27日から令和6年6月12日まで	【主たる技術者名】	吉田 大輝	

【工事概要】

表層（歩道部）	249m ²
ノンスリップタイル設置工	1427枚
当て板補修工	110m ²
孔食修復工	1.2m ²
紫外線硬化型FRPシート設置工	23m ²

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は歩道部の橋面舗装工事である。階段部のタイル撤去後に鋼床版に著しい腐食が確認されたため、広範囲にわたる当て板補修が必要となったが、受注者は現場条件の変更に柔軟に対応し、工期内に余裕をもって無事故で工事を完了させた。さらに狭隘部の施工方法の提案や、仕上がりを意識し、自発的な対応を行うなど、現場をきれいに仕上げたという熱意が終始感じられた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

階段部の各段に異なった歪みが生じており、当て板補修の際に板の取り付け位置の微調整に苦労した。

◇ 特に工夫した点

当て板補修前に金属パテによる不陸整正をきちんと行うことで、当て板を取り付けた際にボルトの締め付けによる歪みを極力減らすよう工夫した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

腐食が著しく進んでいた歩道橋が、補修により見た目もきれいになり、また、安全に利用できるインフラに再生することができたこと。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

工事は凶面通り、予定通りに進んでいくことはほとんどありません。そこで発生する悩みや困難を乗り越えていくことに喜びを感じる事ができれば仕事はどんどん楽しくなります。



金属パテによる不陸整正状況・当て板補修施工状況